

新 着 資 料 の 紹 介

資 料 室

A. П. Виноградов 編：「Д. И. Щербаков, Избранные труды (シチュールバーコフ 選集)」, 第2巻, 1969. 304 p. A 4版, 「ナウカ」出版所, モスクワ (露文)

目 次

ウラン鉱床調査・研究の進歩
新理論による中央アジアの鉱床生成作用について
中部カフカス地方の鉱床生成作用の特徴
中部カフカス地方の高温性鉱石フォーメーション
中部カフカス地方高温性鉱床の探査法則
鉱床生成・分布図作製の法則と方法
マグマ性鉱床の予測図について
超希少元素と分散元素の問題
第三次五カ年計画における希少金属・少量金属原料基地の問題
第三次五カ年計画における希少金属の調査と探査の方向
ソ連における希少金属原料基地
ドネツ盆地の多金属鉱床の研究課題
霞石の有効利用の道
地球科学発展の現状と傾向の特徴について
ソビエト鉱物学の現状と幾つかの課題
ソ連地質学40年
深在地下資源の知識と地質学の幾つかの課題
近代地質学の当面の課題
地質学と共産主義の鉱物資源基地建設
ソ連における地質学の現状と一般的発展方向
地質層系の絶対年代測定に関する研究方向
地球に関する近代的概念とロモノソフの地質学的理念
A. P. カルピンスキーとソビエト地質学
A. P. カルピンスキーと地質学徒
ロシア天然生産力研究委員会史から
科学アカデミー正会員 V. I. ヴェルナツキーの追憶
V. I. ヴェルナツキーとソビエト鉱物学
V. I. ヴェルナツキー——同位元素地質学の祖
偉大な業績 (V. A. オブルーチェフ生誕 100年に寄せて)
鉱床学発展への F. Yu. レヴィンソン—レーシングの貢献
アレクサンドル エヴゲニエヴィッチ フェルスマン (発表論文の概要)
S.S. スミルノフとソ連錫鉱埋蔵性の評価
科学アカデミー正会員 I. F. グリゴリエフの科学活動について
1954年の北極調査隊の成果
南極地方とその研究課題
南極総合調査隊研究成果の綜括

新資料による南極大陸の研究成果

O. A. Медьников: 「История Формирования Структуры Южного Сахалина в палеогене и неогене (南サハリンの古第三系・新第三系構造形成史)」, 1970. 170p. 図38, 表7, 文献 184, B 5版, 「ナウカ」出版所, 露文

目次

序

第1章 地質研究概況

第2章 第三系柱状層位断面

第3章 サハリン南部第三系の堆積相の特徴

下部ゾイスク累層 (Pg₁₋₂). タカラダイスク累層 (Pg₃). アラカイスク火山岩層とアラカイスク累層 (Ni).

サハリン島東岸の古第三系の問題について

ホルムスク累層 (N₁¹⁻²). 上部ゾイスク累層 (N₁²). マルヤムスク累層 (N₁₋₂).

第四紀生成物 (Q).

第4章 サハリン南部新生代地質発達史

白堊系・第三系の相互関係に起因する構造運動の性質について

古第三紀堆積論廻

下部ゾイスク期の構造運動

タカラダイスク期の構造運動

中新世堆積論廻

アラカイスク期の構造運動

ホルムスク期の構造運動

中新一鮮新世堆積論廻

上部ゾイスク期の構造運動

マルリヤムスク期の構造運動

サハリンのアルプス褶曲相の問題について

第5章 南サハリンの構造面

一次序列の構造要素

総構造面中のサハリンの位置について

中生代構造面の一次序列の主要構造要素

現世構造面の一次序列の主要構造要素

サハリンの主要構造要素の形成とその発達方向

二次序列の構造要素

ススナイスクーアニフスク複背斜二次序列の構造要素

東サハリン複背斜二次序列の構造要素

西サハリン複背斜二次序列の正構造要素

西サハリン複背斜二次序列の負構造要素

北海道西部複背斜二次序列の構造要素

西サハリン複背斜と北海道西部複背斜を分ける二次序列構造要素

トイミーポロナイスク複向斜二次序列の構造要素

南サハリン複向斜二次序列の構造要素

サハリンにおける各種序列の構造要素の配列について

サハリンの構造面中における断裂転位の役割について

サハリンの構造面と地球物理的場

サハリンの構造面と石油・天然ガス埋蔵性の展望

結論

Г. С. Горщков ; 「Вулканизм курильской островной дуги (クリル列島注1)弧の火山活動)」 ; 1967, 露文——翻訳 C. P. Thornton: 「Volcanism and the upper mantle—Investigations in the kurile Island Arc」, 1970. 376 p, 図97, 表45, 文献, 387, A 5版 Plenum Press, New York-London, 英文

第1章 クリル列島弧の構造

第2章 クリル列島火山研究史

第3章 クリル列島の地殻構造と地球物理的場

地震活動度 深部地震波 (DSS) データによる地殻の構造 重力場と磁場。

第4章 基盤の地質

層位 構造地質 第四紀地質の若干の問題。

第5章 クリル列島の火山

海底火山 陸生火山

西部火山帯の火山——アライト島 シリンキ島 マカンル島 アヴォシ礁 エカルマ島
チリンコタン島

主火山帯の火山——北クリル列島 (パラムシル島 オネコタン島 ハリムコタン島 シ
アシュコタン島 ロヴッシュキ礁), 中クリル列島 (ライコケ島 マツア島 ラスシ
ア島 ウシシル島 ケトイ島 シムシル島), 南クリル列島 (プロウトン島 チェ・ル
ヌイエ プラチウア諸島 ウループ島 イツループ島 クナシル島)

火山群についての総説

第6章 火山岩類の岩石学および岩石化学

火山岩類の岩石学

玄武岩 安山岩質玄武 安山岩 石英安山岩

火山岩類の岩石化学

北クリル列島 西部火山帯 中クリル列島 南クリル列島

考察

第7章 他の列島弧および内陸性火山・海底火山の岩石化学的特徴

列島弧と火山弧

カムチャッカ 日本 (北本州弧, 西南日本) 西南太平洋列島弧
トンガ諸島とニュージーランド アリュウシャン列島 環太平洋帯東部
(アメリカの火山群, メキシコの火山群, 中央アメリカの火山群)

インドネシアの火山群

内陸性火山群

内海洋火山群

ハワイ群島。ポリネシア 東カロリン群島 東太平洋の諸島

第8章 アッパー・マンツルの進化と火山活動の進化

火山岩の2族 火山活動とアッパー・マンツル 火山活動の進化と地殻の発達

Ю. В. Богданов, Г. Г. Кочин, Э. И. Кутырев, Л. Н. Парадеева, Л. В. Травин, Н. П. Трифонов, В. П. Феоктистов : 「Медистые отложения Олекмо-Витимской горной страны (Олекма-Витим山岳区の含銅堆積層群)」, 「Nedra」 出版社, 1966. 386 p, 図

注1) 千島列島

85, 表13, 文献312, B 5版 (露文)注2)

目次

序

第1部 オレクマ-ヴィチム山岳区北東部の含銅堆積岩層

第1章 地質研究史概説

第2章 コダール・ウドカン帯の地質概説

第3章 コダール・ウドカン帯の含銅砂岩・含銅シルト岩の記載

ナーミンガ地区

層序 マグマ作用 構造地質 有用鉱物 ナーミンガ地区の銅鉱埋蔵性 (ウドカン鉱床, 含銅砂岩・含銅シルト岩の露頭, 総括)

イカビア・チトカンダ地区

層序 マグマ作用 構造地質 有用鉱物 イカビア-チトカンダ地区の銅鉱埋蔵性 (クラースヌイ鉱床, イカビア-チトカンダ地区の含銅砂岩・含銅シルト岩の地質学的生成条件, 総括)

カツーガ地区

層序 マグマ作用 構造地質 有用鉱物

シュリバン地区

層序 マグマ作用 構造地質 有用鉱物

第2部 コダール・ウドカン帯含銅堆積岩層の分布規則性と生成条件

第4章 ウドカン系の層序と生成条件の特徴

第5章 ウドカン系柱状断面における含銅砂岩と含銅シルト岩の位置

第6章 含銅岩層の堆積相上の特徴

第7章 鉱体の形態, 鉱石の鉱物組成と構造・組織上の特徴

第8章 鉱化体の累帯配列

第9章 含銅砂岩の広域変成と接触変成

第10章 銅鉱化体の分布を規制した要素について

第11章 コダール・ウドカン帯含銅堆積岩層の生成条件

結論

第12章 雑色層系含銅堆積岩層に対するコダール・ウドカン帯含銅砂岩・含銅シルト岩の

位置

結び

В. Н. Степанов 編: 「Основные черты геологии и гидрологии японского моря (日本海の地質と水理の基本的特徴)」, Институт океанологии, АН СССР, 1961. 222 p, 図66, 表38, 文献114, B 5版 (露文)

目次

序

第1部 日本海の海底地形, 地質, 海岸

第1章 海底地形 (N. L. Zenkevich)

1. 海底地形研究史と研究状況

2. 海底地形の特徴

3. 日本海海底地形の成因について

注2) 当地質調査所 (資料室) とソ連科学アカデミー・シベリア支部, 科学技術図書館国際文献交換部との特別文献交換によって入手された単行本で, ウドカン鉱床を含む含銅砂岩鉱床についてまとめた貴重な文献である。

第2章 底質 (N. S. Skornyakova)

1. 日本海における主な堆積物生成条件
2. 底質堆積層表層の一般的特徴
3. 日本海底質物沈泥分離体の鉱物組成

第3章 日本海の海岸 (V. S. Medvedev)

1. 日本海の海岸とその発達に影響する要素の一般的特徴
2. 日本海のソ連領海岸
3. 日本海の外国領海岸

第2部 日本海の水理

第1章 日本海の水理の一般的特徴 (V. N. Stepanov)

第2章 日本海の水塊 (M. A. Radzikhovskaya)

1. 使用資料・文献概観
2. 水塊の区分法
3. 水塊の特徴
 - 表層太平洋水塊
 - 表層日本海水塊
 - 深層日本海水塊
4. 水塊の化学的特性 (V. V. Mokievskaya)
 - 日本海の化学元素の一般的特徴
 - 季節別表層水塊の化学的特性

第3章 日本海の水平衡と熱平衡 (M. A. Radzikhovskaya)

1. 日本海の水平衡
2. 日本海の熱平衡
3. 水塊による熱移動
4. 日本海の総熱平衡

第4章 日本海の水循環 (Yu. V. Sizova)

1. 日本海の水循環研究状況
2. 日本海の水循環に対する風の影響について
3. 季節別水温の特徴

第5章 水温 (S. G. Panfilova)

1. 日本海の水温条件を支配する要素
2. 水温変化の一般的規則性
 - 水温の年変化
 - 日本海の水温の日変化
 - 日本海の深度別水温変化の一般的規則性
3. 季節別水温の特徴

第6章 海水の塩度 (S. G. Panfilova)

1. 日本海海水塩度の一般的特徴
2. 季節別海水塩度の特徴

第7章 日本海海水の密度 (V. V. Agatckaya)

1. 海水密度の一般的特徴
2. 季節別海水密度の特徴

第8章 氷塊 (A. N. Kryndin)

1. 氷結条件の一般的特徴
2. 氷結の季節・累年変化

第 9 章 水位の非周期的変化 (L. I. Galerkin)

1. 水位の季節変化
2. 水位の累年変化の特徴
3. 水位の短期変化

むすび

第 3 回全ソ岩石学会報告：「Происхождение Щелочных пород (アルカリ岩の起源)」, Nauka 出版社, 1964. A 5 版, 174 p, 図 24, 表 20, 文献 199 (露文)

目 次

序

B. M. Ronenson: ビシュネボゴル貫入岩の地質と中部ウラル地方アルカリ岩の成因問題

G. S. Dzotsenidze: カフカス地方アルカリ岩の構造地質上の位置

A. A. Kukhareenko, M. P. Orlova: 卓状地性アルカリ-超塩基性マグマ・コンプレックスの成因問題について

V. P. Kostyuk, T. Yu. Bazarova: 東サヤン山脈アルカリ岩生成作用に関する問題について

M. P. Kortusov: クグネツク-アラタウ山脈北西部含霞石岩の地質学的一地形学的特徴

G. V. Andreeb, A. S. Pak: シベリア地方の 2 種複合分化深成岩の交代生成作用

I. Ya. Nekrasov: 北東ヤクート地方塩基性アルカリ岩の成因

R. M. Yahina: 霞石閃長岩貫入岩マグマ分化期生成作用の接触反応過程の発展に対する側岩媒体の影響について

I. D. Tsarovskii: アルカリ岩中における交代作用現象とマグマ作用現象の相違点の規準

L. K. Pozharitskaya, Ye. M. Epshtein: カーボナタイト生成過程の岩石化学的特徴

Ya. M. Feigin: ロボゼールスク山塊マグマ分化岩コンプレックスの主要構造要素の生成機構について

I. A. Petersil'e: コラ半島の 2, 3 の地質系と西シベリアの結晶片岩・片麻岩基盤岩のガス構成

S. A. Kashin, A. A. Storozhenko: オクチャプリスク山塊アルカリ岩の成因の幾つかの特徴

M. K. Pil'tenko, Yu. D. Bochkovoi, A. I. Zaritskii: エランチーク・サニディン-アノーソクレーヌ・アルカリ岩類

E. A. Dzhitriev: 東パミール山脈アルカリ岩コンプレックス

A. N. Nurlybaev, A. G. Panchenko, V. K. Monich, Ye. Z. Mitsul: イシムスク・アルカリ岩コンプレックスの地質と形成史

M. K. Pil'tenko: 表成含塩層のバリンジエネシスによるアルカリ岩生成の可能性について

V. Я. Аврова, Н. И. Буялова, В. Г. Васильева, Н. А. Калинина: 「Прогноз газоносности СССР (ソ連の天然ガス埋蔵性の予測)」, Государственное научно-техническое издательство нефтяной и горно-топливной литературы ленинградское отделение (ГОСТОПТЕХИЗДАТ), Ленинград, 1963. 175 p, 表 26, 文献 68, B 5 版 (露文)

目 次

序

第 1 部 天然ガスの採取量, 可採鉱量, 調査-探鉱事業

第 1 章 ソ連における天然ガス採取量

第 2 章 ソ連の可採天然ガス鉱量

第 3 章 ソ連における石油・天然ガス鉱床の地質調査-探鉱事業

第 4 章 世界資本主義諸国の天然ガス鉱量と採取量

新着資料の紹介(資料室)

- 第2部 ソ連における天然ガス埋蔵性の予測
 - 第5章 石油・天然ガス関係堆積岩コンプレックスの概観
 - 第6章 石油・天然ガス田の分類原則
 - 第7章 石油・天然ガス鉱床の分布規則性に関する概念の発展
 - 第8章 石油・天然ガス推定鉱量の計算法の基本
 - 第9章 ソ連の石油・天然ガス田・予想石油・天然ガス田の天然ガス予想鉱量
 - 第10章 ソ連における石油・天然ガス予測図
- 付録 ソ連における石油・天然ガス埋蔵性展望図